

研究対象者募集

「課題名：口内炎の撮影画像を用いた評価方法に関する研究」

○ 研究の意義・目的

口内炎は、ストレスや疲労などが原因で発症すると考えられている口腔粘膜の疾患で、痛みや違和感のため、食事や会話がしづらくなったり、仕事に集中できなくなったりと、生活の様々な場面に支障が出る場合があります。

現在、口内炎への対処法としては、市販の口内炎薬やビタミン剤の服用、十分な睡眠や栄養のある食事をとるといった対応がとられていますが、より有効な対処法を検討するため、まず口内炎の症状を適切に評価できる方法を確立したいと考えています。

口内炎は短期間で症状が変化し、医師の診察ではこまめに評価することが難しいため、口内炎を発症した方ご自身で撮影された画像を用いて評価する手法を検討しております。この評価手法が信頼できるものか調べる目的でこの研究を計画しました。

○ 参加基準

広島大学歯学部または大学院医系科学研究科所属の学生で、研究に協力していただける方。

※研究を完了した方には謝礼をお渡しします（QUO カード 5,000 円分）。

○ 研究方法

研究期間中に口内炎を発症した際、ご自身で患部の撮影と痛みの評価・記録を毎日実施していただきます（口内炎が治癒するまで）。

また、口内炎の潰瘍ができていく間に一度、医師の診察を受けていただきます。

○ 研究期間 ～ 2026 年 3 月 31 日

※募集期限 2026 年 1 月 31 日（30 名程度）

ご協力いただける方には、後日説明会を開催いたします。

日時：〇〇年〇月〇日 〇時～

場所：広島大学〇〇

○ 個人情報の保護について

調査内容は、プライバシー保護に十分留意して扱います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。

ご質問等があれば下記のところまでお問い合わせください。

広島大学大学院 医系科学研究科 公衆口腔保健学研究室 助教 兼保佳乃

メールアドレス：yoshi-kane@hiroshima-u.ac.jp

広島大学大学院 医系科学研究科 口腔炎症制御学共同研究講座 助教 芝典江

メールアドレス：fshiba@hiroshima-u.ac.jp

～研究代表者（責任者）～

広島大学大学院 医系科学研究科 公衆口腔保健学研究室 教授 太田耕司